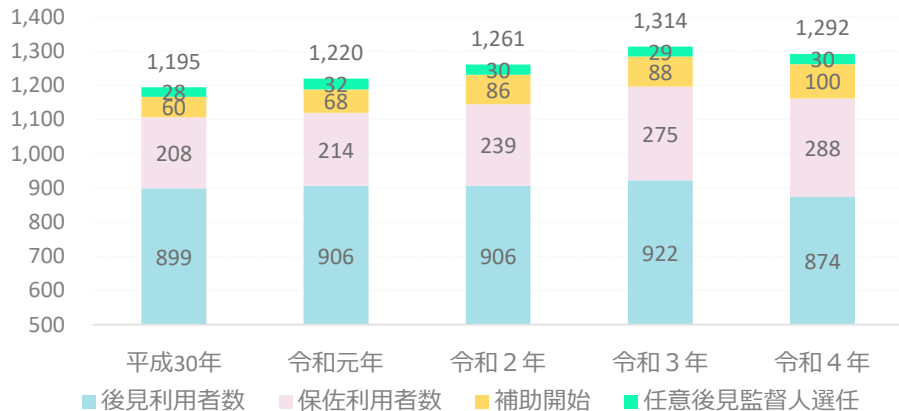


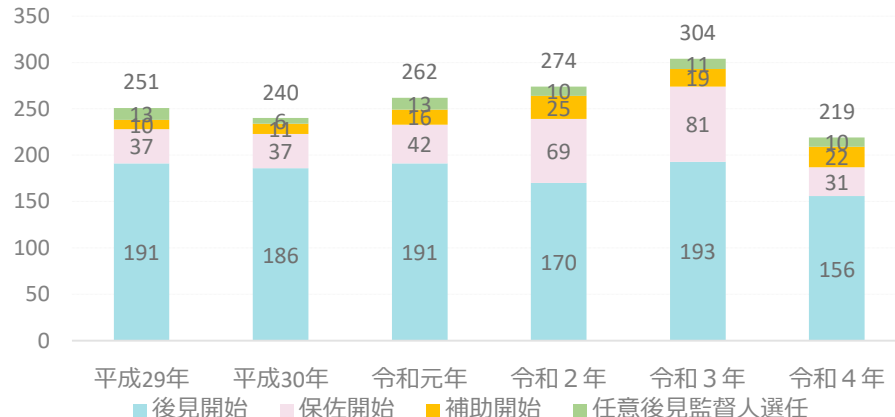
1 成年後見制度の利用者の推移



※ 出典：東京家庭裁判所家事第1部

大田区に住民票がある方の成年後見制度の利用者数は毎年増加傾向であり、令和4年は1,292人にのぼり、都内で3番目に多い。

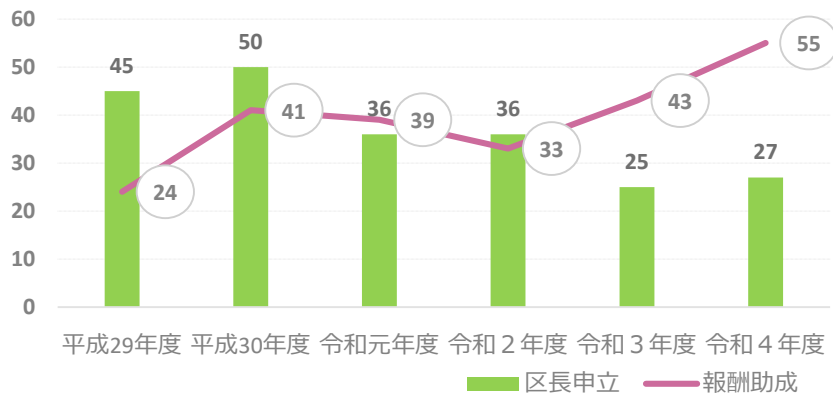
2 成年後見制度の申立件数の推移



※ 出典：東京家庭裁判所家事第1部

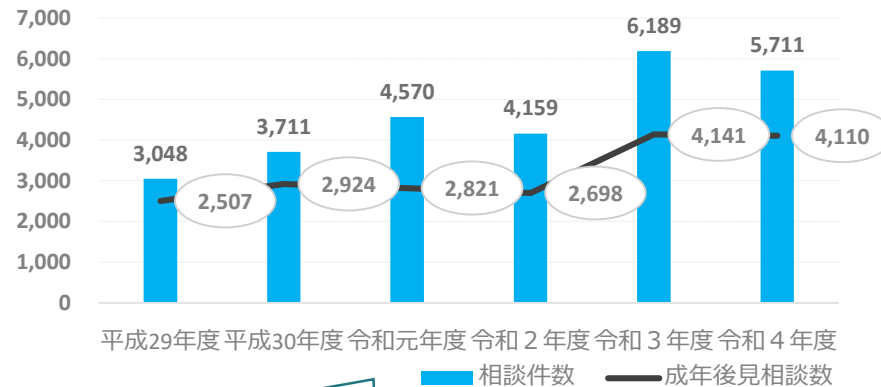
大田区に住民票がある方の東京家庭裁判所に成年後見制度を申立てした件数は、年間200~300件で推移している。大田区は保佐・補助の割合が高く、早期に申立てに繋げていることがうかがえる。

3 区長申立・後見報酬助成件数の推移



区長申立の件数は、平成30年度をピークに令和元年度以降は概ね横ばいで推移している。報酬助成の件数は、この数年伸びており、利用支援制度の周知が浸透しつつある。

4 おおた成年後見センター相談延件数の推移



おおた成年後見センターに寄せられる相談の7割強が成年後見制度に関するものであり、うち任意後見に関する相談は5.6%となっている。老いじたく関連の相談は、全体の1割強を占め、年々増加傾向にある。